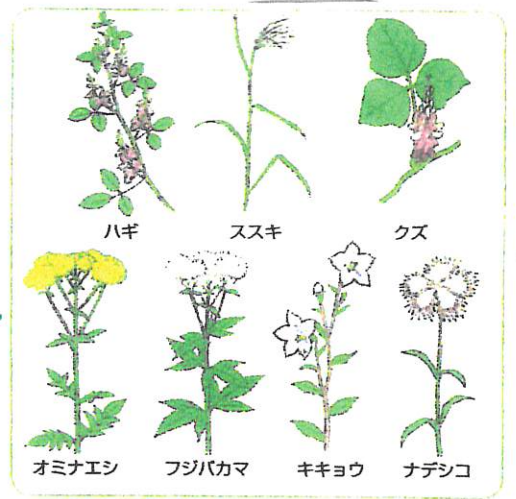


秋の七草



十月神無月

ご存じのように各地の氏神様が会議のため出雲へ出張し、地元の神社に神様がいらっしゃらないので『神無月(かんなづき)』と言われ、反対に出雲では八百万(やおよび)の神様が集うので『神有り月(かみありづき)』といわれます。

10月は食べ物も一段とおいしくなり、山々は北から色とりどりに美しく着飾り、過ごしやすく良い季節になりましたねと言いたいのに、数日おきに列島が台風に襲われ多くの被害が出てしまいました。今年には特に予想もつかない進路を取ることで発生する予報があるたび進路を確認しつつ“一喜一憂”これ以上の被害が無いことを祈ります。



10月お誕生日
おめでとうございます

1日 堀ノ内様

25日 福永様

十月歴史人物忌

5日	達磨大師忌 だるまだいし	インドのバラモンで誕生。中国に渡り石の上に座し修行した。各地に色々な形のだるまの土産物があり、高崎のだるまは選挙や受験の縁起物としても有名。
11日	山頭火忌 たねださんとうか	種田山頭火 俳人ー山口県 明治15年~昭和15年 57歳没。晩年黒衣で各地を托鉢し福岡県内に足跡が残され、当社近くでは 香春町・糸田町にも歌碑が建てられている。
12日	芭蕉忌 まつおばしゅう	松尾芭蕉 1644~1694 三重県(旧伊賀国)生れ。51歳没。俳諧文学の神様と言われ1689年弟子の曾良を伴って各地を巡りながら多くの俳句を残した。「月日は百代(はくたい)の過客(かかく)にして 行きかふ年も又旅人なり」の書き出しで始まる紀行文『奥の細道』はあまりにも有名である。
13日	日蓮上人忌 にちれん	日蓮宗開祖 1222~1282 千葉県(旧安房国)小湊生れ。鎌倉時代16歳で出家し比叡山や高野山で修行。その後山梨県身延山に本山を開く。
13日	嵐雪忌 はっとりらんせつ	服部嵐雪 1654~1707 江戸中期の俳人。芭蕉に入門し其角とともに蕉門十哲の一人。 (芭蕉の十人のすぐれた門人)
20日	尊徳忌 にのみやそんとく 幼名・金二郎	二宮尊徳 1787~1856 江戸時代末期 神奈川県(旧相模の国)生まれ。だ~れ!って。以前は校庭のどこかに薪を背負い本を読んでいる子供の像が勤勉の象徴として建てられていた。幼い頃両親を亡くし苦学の後小田原藩の経済を立直し後年 駿河・相模・伊豆各地の田畑開墾・治水工事に手腕を振るった。小田原城に碑

